

候補者氏名	所属	登録区分	抱負（推薦の場合は推薦文）
浜野 洋三	神戸大学海洋底探査センター	固体地球科学	JpGU2019年大会ユニオンセッションU08で提案された貴重な意見と提言（JGL vol.15, No.4, 2019 参照）を取り入れ、さらに多くの参加者に満足頂ける JpGU 大会の実現をめざします
掛川 武	東北大学大学院理学研究科地学専攻	地球生命科学	代議員や財務委員の経験で JpGU の抱える課題と次世代への引き継ぎに関して考えさせられてきました。理事の役目と責任は重要かと思いません。
吉田 尚弘	東京工業大学地球生命研究所	大気水圏科学	AGU フェロー、GRL と ACP の元 Editor、UNEP 科学委員、学振国際事業部委員、元地球化学会会長、WPI 地球生命研究所 PI の経験を活かし、学生指導の両面を理解した上で、本連合の科学の発展、国際化、若手育成に貢献したい。
川幡 穂高	東京大学大気海洋研究所	地球生命科学	AGU 共同開催も含めた国際的な年会の充実、一流ジャーナル PEPS の確立、さらに Geoethics も推進し、日本の地球惑星科学の世界への情報発信を促進し、新パラダイムに到達すべく努力したいと思えます。
市川 洋	なし	地球惑星科学総合	初等中等教育における理数系教育および地理教育との連携の強化と、地学教育を担当する教員の支援の拡充のために、教育担当理事として、引き続き、微力を尽くしたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。
ウォリス サイモン	東京大学理学系研究科	固体地球科学	JpGU の国際活動に貢献したいと思えます。また、年大会の海外からの参加をさらに促したいです。これは JpGU の発展のみならず、国内外のける地球惑星科学分野の発展・促進のために重要であると考えます。
西 弘嗣	東北大学学術資源研究公開センター	地球生命科学	2年間、総務として連合の規約制定や事務サポートに尽くしました。今後も地球惑星連合の持続的な発展のため全力を尽くします。
道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究科	固体地球科学	日本地球惑星科学連合の発展のために JpGU Meeting をより一層充実させられるように努める他、広報普及活動にも取り組んでいきます。

河宮 未知生	(国研) 海洋研究 開発機構	大気水圏科学	連合の掲げる分野間連携の理念に共鳴しています。 PEPS セクション編集長、財務委員、情報システム委員ほか、連合の様々な活動に関わってきており、今後も連合のプレゼンス向上と国際化に貢献します。
成瀬 元	京都大学	固体地球科学	これまでは、顕彰制度の確立などを通じて連合の活動に協力してきました。今後は、地球表層プロセスの学際的な研究が促進されるようさらに尽力したいと思います。
日比谷 紀之	東京大学 大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻	大気水圏科学	これまでの総務／グローバル戦略担当理事としての実務経験を活かすことで、 JpGU の真の国際化に尽力するとともに、次世代を担う若手研究者にとって JpGU が益々魅力的な情報交換／発信の場となるよう努めます。
沖 大幹	東京大学未来ビジョン研究センター	大気水圏科学	沖氏はグローバルな水循環・水資源に関する研究で世界をリードしており、 AGU との連携深化や、若手研究者のエンカレッジに対して重要な貢献を果たすものと期待されることから、次期の理事に推薦する。推薦者 1: 寶 馨 推薦者 2: 檜山 哲哉
中村 正人	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所	宇宙惑星科学	連合の役割として、中高を含めた高等教育の推進が大切だと考えています。また、人類が地球を改変してしまうことを防ぐ活動も必要です。この2つを強く推進する連合を目指して最後の立候補をしたいと思っています。
田近 英一	東京大学	宇宙惑星科学	地球惑星科学の今後の発展のために、若い学生や周辺分野の研究者を惹きつける努力や国際的に開かれた環境構築、学術会議地球惑星科学委員会との戦略的連携などをより一層推進したいと思います。
木村 学	東京海洋大学・海洋資源環境学部	固体地球科学	これまでの経験を生かし、新しい時代の連合へシームレスに発展するよう、世代の交代を意識した運営の一翼を担いたいと思います。
阿部 なつ江	海洋研究開発機構研究プラットフォーム運用開発部門 マントル掘削プロモーション室	固体地球科学	変動する地球環境に対応するには、地球惑星科学分野の研究発展は不可欠で、さらにその魅力や大切さを社会に伝える必要があります。そのため、私は理事活動を通じて、人材育成や学会の多様性拡大に努めます。

中村 昭子	神戸大学大学院理学研究科	宇宙惑星科学	顕彰委員会の担当を2期務めています。顕彰委員の任期は最大3期までです。そこで、次の担当の方々と一緒に現状の課題をよりよい方向に整理するべく尽力したいと考えています。
村山 泰啓	情報通信研究機構・戦略的プログラムオフィス	大気水圏科学	JpGU 情報担当理事、日本学術会議連携会員(国際サイエンスデータ分科会委員長)・AGU 地球宇宙情報学セクション執行委員会等他組織の役割も生かしオープンサイエンス検討やコミュニティ発展へ貢献します。
奥村 晃史	広島大学大学院文学研究科	地球人間圏科学	地球惑星科学の緊急の課題である自然災害の解明と被害軽減, 地球環境変動の理解と影響緩和に関わる研究と情報発信を, 世界の研究コミュニティと協調して強力で推進する JpGU の発展のため力を尽くします。
山野 博哉	国立環境研究所生物・生態系環境研究センター	地球人間圏科学	自然共生社会研究に取組み、IPCC, IPBES, WOA に関わっています。連合 25 周年シンポで講演、気候変動適応セッション座長。地球と地域の持続性への連合や地球人間圏科学の貢献を考えたいと思います。
小口 千明	埼玉大学大学院理工学研究科	地球人間圏科学	地球科学分野の研究者の育成と支援に関わってきました。最近はとくに欧米からの良い意味での圧力を感じます。国際的・分野横断的な連携を深め、引き続き、任期付雇用や無意識の偏見等について考えてまいります。
松多 信尚	岡山大学	地球人間圏科学	地球惑星科学が社会的なニーズに応えながら発展できるよう、理学的な思考と立場で人間社会と地球科学の結び付ける役割に貢献したいと思います。
高橋 幸弘	北海道大学	宇宙惑星科学	世界的に進む、地球惑星科学の学術的な領域拡大やオープンデータ化、途上国を含む国際化に対応し、JpGU がアジアと世界における学術研究のリーディングコミュニティとしての地位を確立するために尽力します。
橘 省吾	東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構	宇宙惑星科学	これまで広報普及面で活動してきました。引き続き、地球惑星科学の普及、JpGU 内での情報共有で貢献できればと思っております。